

## まちづくりとの関係 カードゲームで学ぶ 知立市職員と学生 大学生と知立市の若手職

カードゲームを楽しみながらSDGsへの理解を深める大学生と知立市の若手職員。同市中央公民館で



員がカードゲームを通じて「持続可能な開発目標（SDGs）」とまちづくりの

関わりを学ぶ研修が、同市中央公民館であった。

本年度に国の「SDGs未来都市」に選定された市では、推進につながる施策を学生らが提言するコンテストを来年一月に開催予定。普及・啓発のため、市と連携協定を結ぶ愛知教育大、愛知大の学生に参加してもらった。

ゲーム名は「SDGs de 地方創生」。職員と学生計二十人が会場を一つの町に見立て、行政職員役や住民役となって資金と資源のカードを交換したり譲り合ったりし、SDGsのゴールに沿ったプロジェクトを達成した。SDGsの啓発事業を進める企業「ふるサポ」（東京都渋谷区）の中島達朗社長（六）が進行役を務め、講義も担った。卒業後は行政関係の仕事に就く予定という愛教大四

年の酒井愛実さん（二）は「集まる情報を官民業でうまく共有し、SDGsにつながる良い政策をつくっていく大切さを感じた」と話していた。